

所管課		消防本部消防総務課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第4章 安全安心都市			03 消防・救急救助			02 消防施設・設備を充実する										
事業：消防施設・設備整備管理事業													整理番号	0463			
目的	市民の生命・財産を災害から守る拠点である消防防災拠点施設の建設を実行し、また、市所有の消防施設を最良の形で維持していくことを目的とする。																
目標	消防防災拠点施設の建設																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		1,093,608		コスト情報・評価	総コスト(千円)		1,118,299		総合評価	A	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		25,767		内訳	事業費		1,093,608			効率性		A			
		国府支出金		157,170			人件費		14,486			有効性		A			
		地方債		337,100			公債費		10,205			消防防災拠点施設建設工事を完了するとともに、消防施設の維持管理に努めたため。					
		その他特定財源		573,571			一人あたり(円)		10,013								
							世帯あたり(円)		23,663								
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	平成25年度消防施設・設備整備管理事業予算を適正に執行したため。											
今後の方向性	消防施設の適正な維持管理を継続的に実施する。																

事業 優先順位		1	細事業：消防防災拠点施設整備事業				整理 番号		04			
目的		昭和40年に建設された消防庁舎の老朽化並びに、機能低下によって生じる消防本部、消防署機能の分散を是正するため、また、複雑多様化し大規模化する災害に十分に対応できうる消防力を収容し、消防活動を総括する拠点として、さらに地域防災コミュニティの核となる施設の整備を図ることを目的として、消防防災拠点施設の建設を行うもの。										
目標		平成25年度は、2箇年に亘る建設工事の最終年となり、建設工事、工事監理とともに敷地境界の整理に伴う測量を実施する。また、平成26年度当初に庁舎がスムーズに運用されるための初度備品を配備し、本部、消防署からの資機材等の運搬を実施する。										
事業 実施主体		直営	事業開始 年	平成7年度	根拠 法令							
事業費・財源	財源内訳			平成25年度	平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比 較
		事業費（決算額）（千円）		1,074,785	59,950	1,014,835		総コスト（千円）		1,080,891	67,885	1,013,006
		一般財源		7,218	988	6,230		事業費		1,074,785	59,950	1,014,835
		国府支出金		157,170	0	157,170		人件費		6,100	7,935	-1,835
		地方債		337,100	1,700	335,400		公債費		6	0	6
		基金とりぐずし金		561,817	57,262	516,035		一人あたり（円）		9,678	601	9,077
		繰越金		11,480				世帯あたり（円）		22,872	1,440	21,432
				0				職員数（人）		0.80	1.00	-0.20
							再任用職員数（人）		0.00	0.00	0.00	
今後の方向性		消防施設の適正な運用管理を実施していく。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民							
	A	B	B									

事業：消防施設・設備整備管理事業

1. 消防防災拠点施設建設基金

「消防防災拠点建設基金」から、消防防災拠点施設工事の実施に必要な資金の取りくずしを行った。また、基金の目的である消防防災拠点施設建設事業が終了したため、平成26年3月31日付けで基金を廃止した。

区 分	金 額 (円)
平成24年度末基金現在高	896,800,292
平成25年度取りくずし金（消防防災拠点施設工事費へ充当） （普通建設事業基金へ積立）	561,817,231 334,983,061
平成25年度末基金現在高	（廃止）

細事業：消防防災拠点施設整備事業

災害発生時における速やかな消火・救急・救助活動の体制強化、通信指令等の設備強化、地域で支えあう自主防災体制の強化を図り、消防防災拠点としての機能を発揮する新庁舎の建設工事が完了した。新庁舎では、消防ポンプ車やはしご車などの消防車21台と、非常用を含めて高規格救急車2台を運用し、また消防職員及び消防団員の災害活動技術の向上を図るため、各種訓練が総合的に行える訓練施設を併設した。

庁 舎 概 要

名 称 河内長野市消防本部
住 所 河内長野市小山田町1663番地の3
敷地面積 5550.44㎡
建築面積 1558.06㎡
延床面積 3913.12㎡

○消防庁舎本棟

建物構造 鉄筋コンクリート造4階建
建築面積 1237.72㎡
延床面積 3430.51㎡

○その他建物構成（各床面積）

訓 練 塔 233.20㎡
車庫2棟 99.60㎡+99.60㎡（鉄骨造）



河内長野市消防本部新庁舎（全景）

平成26年1月31日竣工

